ユーザーズガイド

CREATIVE®



MuVo® 2 FM

ユーザーズガイド

Creative MuVo² FM

本書の内容は、予告なく変更されることがあります。また、Creative Technology 社の事前の文書による承諾無しに本書の一部、または、全部を複写すること、および転用することは目的の如何、媒体の如何を問わず禁止されています。本書の作成にあたっては万全を期しておりますが、運用した結果については責任を負いかねますのでご了承下さい。本書で説明するソフトウェアは使用許諾契約書の規定に従います。同契約書の規定による許可無くこのソフトウェアを複写することは、法律に違反しますのでご注意下さい。使用許諾契約受諾者は、バックアップ用としてのみ 1 点に限りこのソフトウェアの複写を作成することができます。

ソフトウェアの使用許諾契約書は、インストール CD 上の別のフォルダに収録されています。

初版

2004 年 7 月

CREATIVE

目次

CREATIVE MuVo² FM

1 ご使用の前に

2 プレーヤーについて

3 ご使用の準備

4 プレーヤーの使い方

5 ソフトウェアアプリケーション

付録

A　画面上の図およびアイコンについて

B　よくあるご質問

C　仕様

CREATIVE

1 ご使用の前に

ご使用の前に

はじめに

この度は Creative MuVo² FM をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このプレーヤーは、ミュージックライブラリに数千もの曲を保存でき、USB 2.0 コネクターを通じて音楽データを高速、かつ簡単に転送することができます。

必要なシステム



Creative MuVo² FM に含まれるソフトウェアアプリケーションは、基本機能よりも高い動作環境を要求する場合があります。詳細は各アプリケーションのマニュアルを参照して下さい。

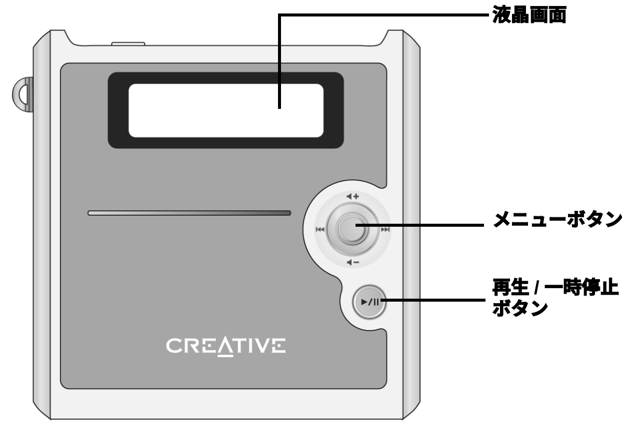
- Microsoft® Windows® 98 SE/Me/2000/XP
- Intel® Pentium®II 233 MHz 以上を搭載する PC/AT 互換機（MP3 のエンコードには Pentium III 450 MHz 以上を推奨）
- Windows 98SE/Me では 64MB 以上、Windows 2000/XP では 128MB 以上のシステムメモリー
- 30 MB のハードディスクの空き容量
- CD-ROM/DVD-ROM ドライブ
- USB 2.0/1.1 規格に準拠した、空き USB ポート
- インターネットに接続できる環境（アプリケーション、ファームウェアのアップデートに必要）

CREATIVE

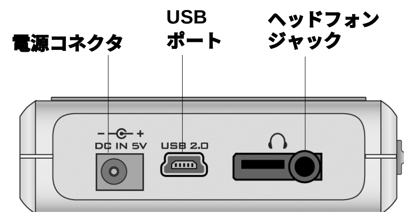
2 プレーヤーについて

プレーヤーについて

各部の名称および機能



前面



上面

メニューボタンの使い方

選択

メニューボタン（図 2-1）はプレーヤーの重要な機能の一つです。メニューボタンを左右の方向へ移動してオプションを参照したり、メニューボタンを押してオプションを選択する表現として、本書では「選択」という言葉を使用します。



図 2-1: メニューボタン

ボリューム

メニューボタンを使用してボリュームレベルを調整することもできます。メニューボタンを上へ移動するとボリュームが上がり、下へ移動するとボリュームが下がります。

ボタン	機能	使用時のヒント
メニュー 	❍ 液晶画面にメニューオプションを表示します。	❍ メニューボタンの使い方の詳細については、2-2 ページの「メニューボタンの使い方」を参照して下さい。
再生 / 一時停止 	❍ プレーヤーの電源をオン / オフにします。 ❍ 使用中のモードでさまざまな機能を有効にします。	❍ ミュージックモードでこのボタンを押すとトラックの再生を開始し、再度押すと再生が一時停止します。 ❍ マイク録音モードでこのボタンを押すと、録音を開始 / 終了します。 ❍ FM ラジオモードでこのボタンを押すと、FM プリセットと手動検索の表示が切り替わります。

インジケータ	機能	使用時のヒント
後戻り I◀◀	❍ 現在のトラックの先頭、または、一つ前のトラックへ戻ります。	❍ メニューボタンをI◀◀の方向へ移動し押し続けると、トラック内の前の部分へ戻ります。
先送り ▶▶I	❍ 次のトラックへ進みます。	❍ メニューボタンを▶▶Iの方向へ移動し押し続けると、トラック内の先の部分へ進みます。
ボリュームアップ ◀ +	❍ ボリュームを上げます。	❍ メニューボタンを◀ +の方向へ移動し押し続けると、ボリュームが早く上がります。
ボリュームダウン ◀ −	❍ ボリュームを下げます。	❍ メニューボタンを◀ −の方向へ移動し押し続けると、ボリュームが早く下がります。

コネクタ / ポート	機能	使用時のヒント
電源コネクタ − −◐− + DC IN 5V	❍ 付属の AC アダプターを接続します。	
USB ポート USB 2.0	❍ USB ケーブルを接続します。	
ヘッドフォンジャック 🎧	❍ ヘッドフォン、または、オプションの FM ワイヤードリモコンを接続します。	

ワイヤードリモコン



ミュージックモードのとき、リモコン上の各ボタンは対応するプレーヤーのボタン同じ動作をします。

ワイヤードリモコンにより、プレーヤーをバッグから取り出さなくても操作することができます。

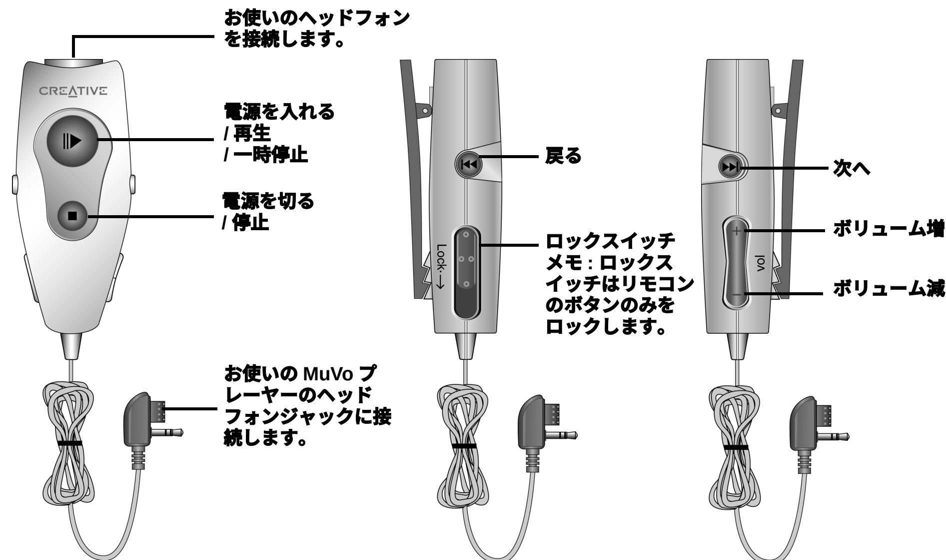


図 2-2: ワイヤードリモコン

CREATIVE

3 ご使用の準備

ご使用の準備

手順 1: コンピュータの設定



ソフトウェアをインストールする前にプレーヤーをコンピュータに接続しないで下さい。

1. Creative MuVo² FM CD を CD-ROM/DVD-ROM ドライブに挿入します。ディスクは Windows の自動再生モードに対応しているため自動的に起動します。自動的に起動しない場合は、下記の手順に従ってください。
   - i. Windows エクスプローラを開きます。
   - ii.［マイコンピュータ］アイコンをクリックして開きます。
   - iii. Creative MuVo² FM CD が挿入されている CD-ROM/DVD-ROM ドライブを右クリックして、ポップアップメニューから「自動再生」をクリックします。
2. 画面の指示に従ってインストールを完了します。Creative MediaSource™、および Windows 98 SE ドライバ（必要な場合のみ）がコンピュータにインストールされます。
3. コンピュータを再起動するように指示された場合は、[はい、ただちにコンピュータを再起動します。] を選択します。

手順 2: バッテリーの挿入

図 3-1 のように付属のバッテリーをプレーヤーに挿入します。

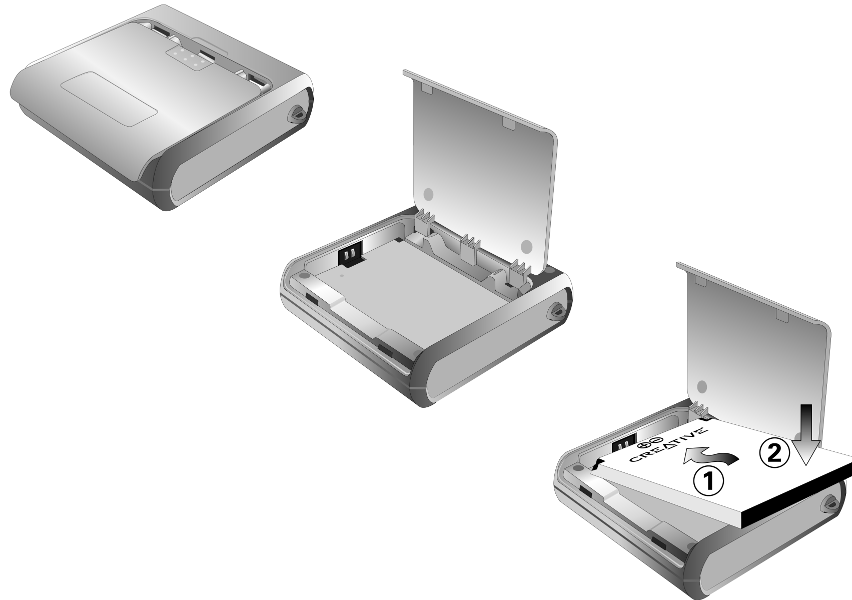


図 3-1: バッテリーの挿入

手順 3: バッテリーの充電

バッテリーを充電するには、付属の AC アダプターをプレーヤーとコンセントに接続するか、または、付属の USB ケーブルをプレーヤーとコンピュータの USB ポートに接続します。

AC アダプターの使用

図 3-2 のように、AC アダプターの片方の端をコンセントに差し込んで、反対側の端をプレーヤーの電源コネクタに接続します。バッテリーのアイコンで、バッテリーが完全に充電されているかどうかを確認して下さい。バッテリーを初めて充電する場合、充電が完了するまで約 3 時間かかります。



ソフトウェアのインストールが終了するまで、プレーヤーのバッテリー充電を **USB** ポート経由で行わないで下さい。



お使いのヘッドフォンの種類など、使用状況によって再生可能な時間は変わります。詳細については、**B-1** ページの「使用方法」を参照して下さい。

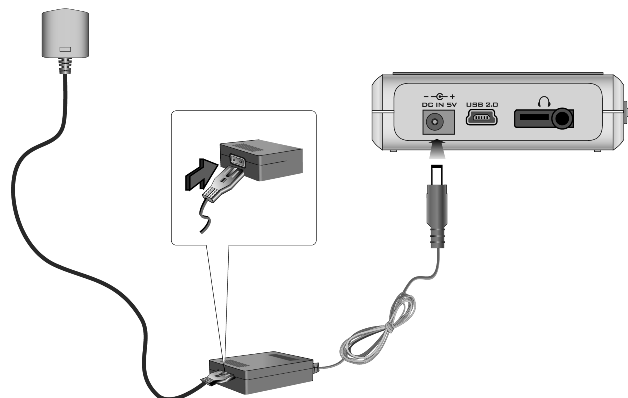


図 3-2: プレーヤーとコンセントの接続

USB ケーブルの使用



ソフトウェアのインストールが終了するまで、プレーヤーのバッテリー充電を **USB** ポート経由で行わないで下さい。



バッテリーが完全に充電されてなくても、プレーヤーをコンピュータから外すことができます。

付属の USB ケーブルを使用してプレーヤーのバッテリーを充電できます。図 3-3 のように、USB ケーブルでプレーヤーとコンピュータの USB ポートを接続できます。

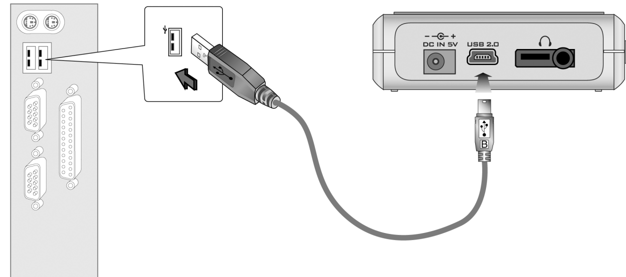


図 3-3:USB ケーブルを使用したプレーヤーの接続

1. Windows エクスプローラで、[リムーバブルディスク] アイコンを右クリックし、[取り出し] をクリックして、バッテリーの充電を開始します。がプレーヤーの液晶画面に表示されます。
2. が液晶画面に表示されたら、プレーヤーは完全に充電されたことになります。
3. プレーヤーをコンピュータからゆっくり外します。詳細については、3-8 ページの「手順 5: プレーヤーの取り外し」を参照して下さい。

CREATIVE MuVo² FM

電源およびレベルの表示

プレーヤーには、バッテリーの充電状態や電源（充電池、AC アダプターまたは USB からの電力）に応じて以下のアイコンのいずれかが表示されます。

アイコン	意味	メモ
	❍ バッテリーが完全に充電されている状態です。	❍ プレーヤーはバッテリーで動作しています。
	❍ バッテリーは残り 60% です。	
	❍ バッテリーは残り 30% です。	❍ プレーヤーはバッテリーで動作していますが、早めにバッテリーを充電して下さい。
	❍ バッテリーの電力は空の状態です。	❍ 速やかに充電して下さい。
	❍ プレーヤーはACアダプターからの電力で動作しています。	
	❍ プレーヤーは AC アダプターによって動作しており、バッテリーは充電中です。	❍ プレーヤーをコンセントから抜く前に、バッテリーを完全に充電して下さい。 ❍ 充電中はこのアイコンとバッテリーの状態を示すアイコンが交互に表示され、充電のおおよそのレベルが示されます。
	❍ プレーヤーはACアダプターからの電力によって動作しており、バッテリーのは充電は完了しました。	❍ バッテリーで使用するにはプレーヤーをコンセントから抜いて下さい。

CREATIVE MuVo² FM

手順 4: 音楽やデータの転送



プレーヤーには文書やプレゼンテーション、写真など、さまざまな種類のデータを保管して持ち運ぶことができます。



コンピュータからプレーヤーを取り外す前に、プレーヤーが安全に取り外せる状態になっているかを確認して下さい

本プレーヤーにはすぐに使用できるようにあらかじめ音楽が用意されています。すぐに音楽を聴きたい場合は、4-3 ページの「音楽トラックの再生」を参照して下さい。

プレーヤーにさらに音楽トラックをダウンロードして追加するには、インターネットの音楽サイトから音楽トラックをダウンロードするか、音楽 CD からリッピングしてコンピュータ取り込みます。詳細については、3-7 ページの「音楽 CD からのリッピング」を参照して下さい。

音楽ファイルを MP3、WMA、または WAV 形式に変換し、Creative MediaSource オーガナイザでプレーヤーに転送できます。

また音楽以外のデータファイルも、Creative MediaSource を使用してプレーヤーに転送することができます。たとえば、お使いのコンピュータから別のコンピュータに大きな動画ファイルなどを転送したい場合に便利です。

Creative MediaSource を使用して転送する場合

1. 付属の USB ケーブルを使って、プレーヤーをコンピュータの USB ポートに接続します。
2. Creative MediaSource オーガナイザが起動していない場合は起動します。
3. [転送パネル] ボタンをクリックします。
4. [ソース] ウィンドウで、ファイルが保存されているディスクドライブを選択します。
5. 画面中央の [コンテンツ] ウインドウにて、転送したいファイルを選択します。
   複数のファイルを選択するには、Ctrl キーを押しながらファイルをクリックします。
6. [転送先] ウィンドウで [転送先] ドロップダウンリストをクリックし、プレーヤーのアイコンを選択します。
7. 右向きの矢印ボタンをクリックするか、または、選択したファイルを [コンテンツ] ウィンドウから [転送先] ウィンドウにドラッグアンドドロップして転送します。
8. [転送リスト] ウインドウが表示され、現在の転送状態を確認することができます。
9. 転送が完了すると、まずプレーヤーを停止し、コンピュータから取り外します。プレーヤーを停止する方法については、3-8 ページの「手順 5: プレーヤーの取り外し」を参照して下さい。

音楽 CD からのリッピング

音楽 CD から MP3 や WAV、WMA ファイルを作成するには、最初に音楽 CD のデジタルデータをコンピュータに取り込む必要があります。取り込みには、デジタルリッピングに対応した CD-ROM ドライブとデジタルリッピングが可能なソフトウェアが必要です。Creative MediaSource オーガナイザを使えば、それらの作業を行うことが出来ます。取り込まれたデータはコンピュータのハードディスクに保存されます。

取り込み速度は次の条件によって変化します。

- CD-ROM ドライブのデータ抽出速度
- CD に付いている傷の度合い等
- CD-ROM ドライブのエラー訂正機構

デジタルデータの取り込みが完了したら、次にデータのエンコーディングを行います。取り込み形式を MP3 や WMA に指定した場合、音楽 CD から取り込まれたデジタルデータはこれらの形式に変換されます。MP3 も WMA も不可逆圧縮方式であり、一度変換されたデータは元のデータと完全に一致しません。しかしながら、十分なビットレートを確保することによって聴覚上は何の違いも感じられないようになります。通常音楽 CD クオリティーは 128kbps と言われていますが、160kbps、192kbps といった高いビットレートを使えば、よりソースに近い音質になります。ビットレートが高くなると、相対的にファイルのデータ量も多くなるので注意して下さい。Creative MediaSource オーガナイザは、音楽 CD の取り込みから MP3、WMA 形式への変換までを 1 ステップで行うことができます。

詳細については、Creative MediaSource オーガナイザのオンラインヘルプを参照して下さい。

手順 5: プレーヤーの取り外し

Windows XP、Windows Me または Windows 2000 の場合

Windows のタスクトレイにある、[ハードウェアの安全な取り外し] アイコンをクリックして、[USB 大容量記憶装置デバイス～を安全に取り外します] をクリックして下さい（図 3-4)。安全に取り外せる状態になったら、プレーヤーを取り外して下さい。

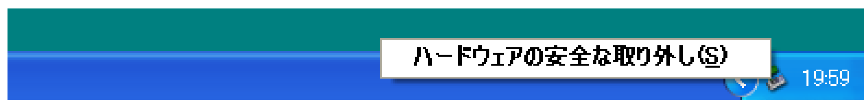


図 3-4:Windows XP、Windows Me、または、Windows 2000 でのプレーヤーの取り外し

Windows 98 SE の場合

Windows エクスプローラよりリムーバブル ディスク アイコンを右クリック（図 3-5）し、[取り出し] をクリックして、安全に取り外せる状態になったら、プレーヤーを取り外して下さい。

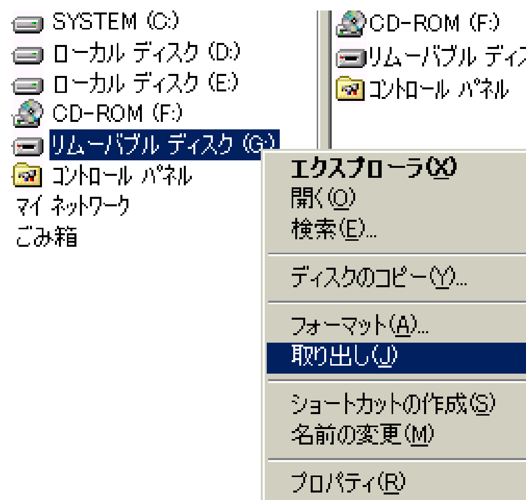


図 3-5:Windows 98 SE でのプレーヤーの取り外し

手順 6: ヘッドフォンとワイヤードリモコンの接続

ヘッドフォンをプレーヤーのヘッドフォンコネクタに直接接続して、リスニングの時間を楽しむことができます（図 3-6 参照）。また、ワイヤードリモコン経由でヘッドフォンとプレーヤーを接続することにより、ワンタッチでプレーヤーにアクセスできます（3-10 ページの「ワイヤードリモコンの接続」参照）。ワイヤードリモコンの使い方の詳細については、2-4 ページの「ワイヤードリモコン」を参照して下さい。

ヘッドフォンを接続するには



安全のため、車や自転車の運転中にヘッドフォンを使用しないで下さい。

図 3-6 のように、ヘッドフォンとプレーヤーを接続します。

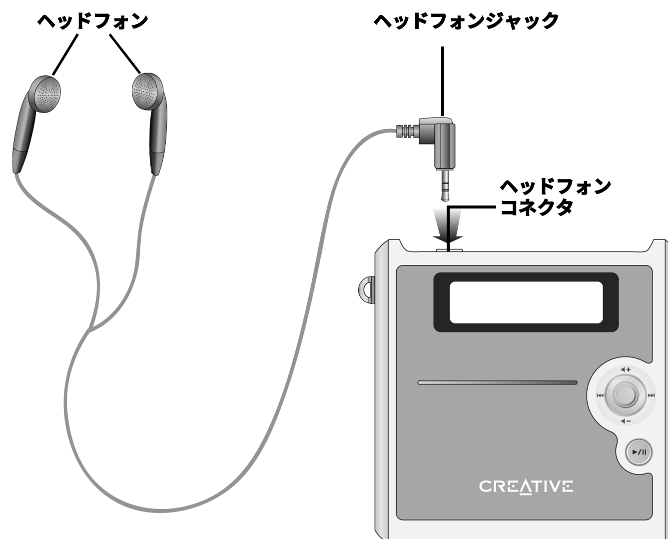


図 3-6: ヘッドフォンの接続

ワイヤードリモコンの接続



本製品に対応しないワイヤードリモコンを使用することは出来ません。

図 3-1 のように、ヘッドフォン、ワイヤードリモコン、およびプレーヤーを接続します。

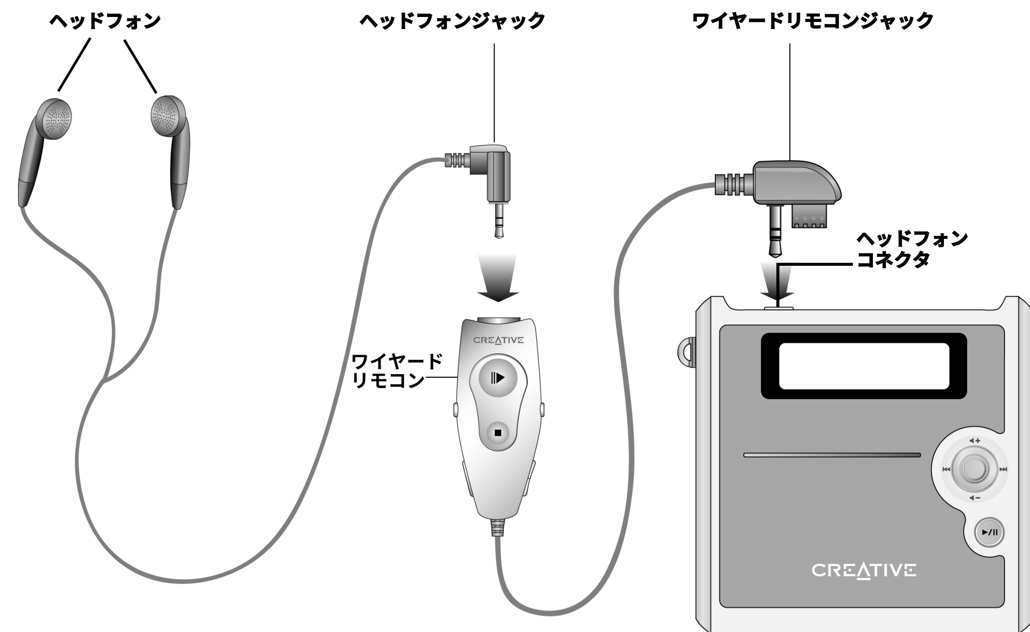


図 3-7: プレーヤーのワイヤードリモコンへの接続

CREATIVE

4 プレーヤーの使い方

CREATIVE MuVo² FM

プレーヤーの使い方

プレーヤーには［Music（ミュージック）］、［Microphone（マイク録音）］、［FM Radio（FM ラジオ）］の 3 つのモードが用意されています。モードの切り替え方に関しては、4-2 ページの「モードの変更」を参照して下さい。

プレーヤーにはいくつかの再生モードがあり、トラックの再生方法を変更できます。詳細については、4-12 ページの「再生モード」を参照して下さい。

プレーヤー電源のオン / オフ



プレーヤーに音楽トラックが **1** つもない場合は、「**No Music**（ファイルなし）」というメッセージが画面に表示されます。

プレーヤーの電源を入れる

［再生 / 一時停止］ボタン ►/II を数秒押し続けます。「CREATIVE」ロゴが液晶画面に表示され、次に「 MuVo² FM」ロゴが表示されます。

プレーヤーの電源を切る

「Power off（パワーオフ）」のメッセージが表示されるまで、[再生 / 一時停止] ボタン ►/II を押し続けます。そのメッセージが画面から消えると電源が切れます。

モードの変更



本書では「選択」という用語を使用しています。用語の使い方については、**2-2** ページの「選択」を参照して下さい。

プレーヤーには［Music（ミュージック）］、［Microphone（マイク録音）］、［FM Radio（FM ラジオ）］の 3 つのモードが用意されています。各種モードを使用することにより、さまざまな機能を選択できます。

1. メニューボタンを押します。図 4-1 と同じメニューが表示されます。

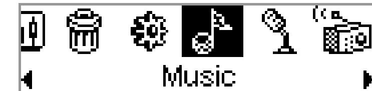


図 4-1:

2. ［Music（ミュージック）］アイコン 、［Microphone（マイク録音）］アイコン 、［FM Radio（FM ラジオ）］アイコンのいずれかを選択します。 .

音楽トラックの再生



音楽トラックはファイル名順に再生されます。

本プレーヤーにはすぐに使用できるようにあらかじめ音楽が用意されています。すぐに音楽を聴きたい場合は、［再生 / 一時停止］ボタン ▶/II . を押します。

音楽トラックの再生は簡単です。Music（ミュージック）モードでは、経過時間、トラック番号、トラックのファイル名が表示されます。

音楽トラックをプレーヤーに追加するには、3-6 ページの「手順 4: 音楽やデータの転送」を参照して下さい。



図 4-2:

トラックを再生するには

1. メニューボタンを押します。
2. ［Music（ミュージック)］アイコンを選択します。図 4-2 と同じ画面が表示されます。
3. 再生したいトラックを選択し、［再生 / 一時停止］ボタン ▶/II を押します。

トラックを一時停止するには

［再生 / 一時停止］ボタン ▶/II を押します。

トラックを停止する

［再生 / 一時停止］ボタン ▶/II を押してトラックを一時停止し、メニューボタンを左右のどちらかに移動します。［停止］アイコン ■ が画面に表示されます。

音楽トラックの削除

トラックをプレーヤーから完全に削除します。

トラックを削除する

1. メニューボタンを押します。
2. ［Music（ミュージック）］アイコンを選択します。削除したいトラックに移動します。
3. 再度メニューボタンを押します。
4. ［Delete（削除）］アイコンを選択します（図 4-3）。リストが表示されます。
5. 削除の確認アイコンを選択します（図 4-4）。画面にトラック名が表示され、プレーヤーから完全に削除されます。



図 4-3:



図 4-4:

音楽トラックの管理



Creative MediaSource の使い方について詳細は、**Creative MediaSource** のオンラインヘルプを参照して下さい。

再生リストの作成や管理など、より高度な音楽トラック管理作業の場合は、Creative MediaSource オーガナイザを使用します。Creative MediaSource プレイヤー / オーガナイザは、デジタル音楽を再生、作成、編成、および転送するためのソフトウェアです。Creative MediaSource プレーヤー / オーガナイザを起動するには、デスクトップで［Creative MediaSource プレイヤー / オーガナイザ］アイコン  をダブルクリックします。

ＦＭラジオの聴取

本プレーヤーは FM ラジオチューナーを内蔵しており、お好みの FM ラジオプログラムを受信することができます。プレーヤーはその地域で受信可能な局を自動的に検索することができ、お気に入りの局をプリセットとして保存することができます。FM ラジオモードでは液晶画面に現在の局の周波数、及びプリセットの番号が表示されます。



地域を変更するには

初めて FM ラジオ局をスキャニングする前に、次の手順に従って地域の設定を行って下さい。

1. メニューボタンを押します。
2. ［Settings（設定）］アイコンを選択します（図 4-5）。リストが表示されます。

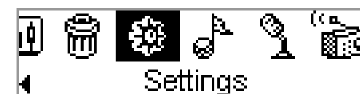


図 4-5:

3. ［FM Region（FM 地域）］アイコン（図 4-6）を選択します。リストが表示されます。
4. 選択できる地域のリストが表示されます。



図 4-6:

FM ラジオ局の自動検索と自動保存機能を使用するには

1. ［FM Radio（FM ラジオ）］アイコンを選択します（図 4-7）。FM ラジオ局の周波数が液晶画面に表示されます（図 4-8）。

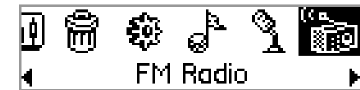


図 4-7:

2. 再度メニューボタンを押します。

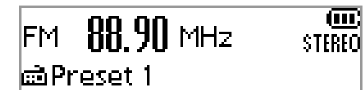


図 4-8:

3. ［Autoscan（オートスキャン）］アイコンを選択します（図 4-9）。プレーヤーは受信可能なラジオ局を検索して、プリセットとして記録します。検索が完了すると、最初に記録されたラジオ局から受信を開始します。



図 4-9:

ラジオ局をプリセットに登録するには

1. ［FM Radio（FM ラジオ）］アイコンを選択します（図 4-10）。FM ラジオ局の周波数が液晶画面に表示されます（図 4-11）。

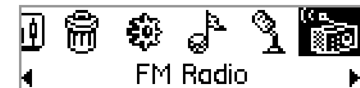


図 4-10:

2. 画面にプリセットが表示されている場合（図 4-11）、プレーヤーの［再生 / 一時停止］ボタン を押し、手動サーチ画面に移行します（図 4-12）。プリセットは表示されません。
3. ラジオ局を検索するには、メニューボタンを左右のどちらかに移動し、そのまま 1 秒ほど押し続けます。
4. ラジオ局が見つかったら、再度メニューボタンを押します。

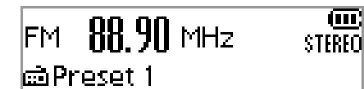


図 4-11:

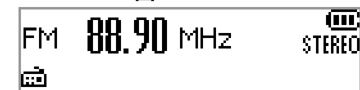


図 4-12:

5. ［Save Preset（プリセット保存）］アイコンを選択します（図 4-13）。.
6. 見つかったラジオ局を保存するためのプリセット番号を選択します。メニューボタンを押してプリセットに保存します。
7. 他のラジオ局をプリセットに保存する場合は、以降手順 2 から 6 を繰り返して下さい。



図 4-13:

プリセットを選択するには

1. ［FM Radio（FM ラジオ）］アイコンを選択します（図 4-14）。FM ラジオ局の周波数が液晶画面に表示されます（図 4-15）。

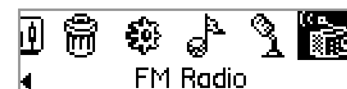


図 4-14:

2. プリセットを選択します。

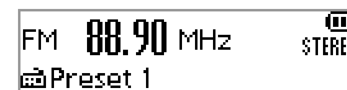


図 4-15:

プリセットを削除するには

1. ［FM Radio（FM ラジオ）］アイコンを選択します（図 4-16）。FM ラジオ局の周波数が液晶画面に表示されます（図 4-17）。

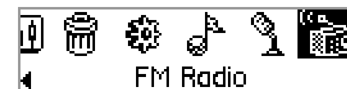


図 4-16:



プリセットを参照しない場合は、［再生 / 一時停止］ボタンを押して下さい。

2. プリセットを選択します。
3. 再度メニューボタンを押します。

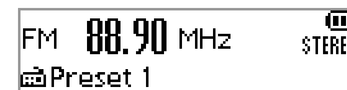


図 4-17:

4. ［Delete Preset（プリセットの削除）］アイコンを選択します（図 4-18）。



図 4-18:

5.　［Delete Presrt x（x を削除します）］アイコンを選択します（図 4-19）。プリセットが削除されます。



図 4-19:

FM プリセット画面と手動サーチ画面を切り替えるには

FM プリセット画面（図 4-21）においては、登録されているプリセットが表示され、メニューボタンを使ってそれらのプリセットを選択することができます。手動で周波数を検索するには、手動サーチ画面（図 4-23）に切り替える必要があります。

1.　［FM Radio（FM ラジオ）］アイコンを選択します（図 4-20）。FM ラジオ局の周波数が液晶画面に表示されます。

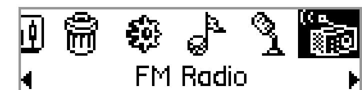


図 4-20:

2.　再度メニューボタンを押します。

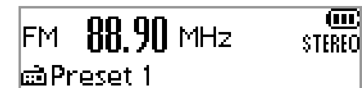


図 4-21:

3.　FM プリセット画面を表示している場合（図 4-21）は、［Left/Right: Tuning（プリセット / チューニング）］アイコンを選択して手動サーチ画面を表示します（図 4-22）。



図 4-22:

4.　手動検索画面を表示している場合（図 4-23）は、［Left/Right: Preset（プリセット / チューニング）］アイコンを選択して FM プリセット画面を表示します（図 4-24）。

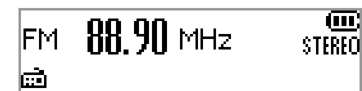


図 4-23:

FM ラジオを受信している間、［再生 / 一時停止］ボタン ►/II を押して画面を切り替えることもできます。



図 4-24:

ボイスと FM ラジオの録音

Creative MuVo2 FM には優れたボイス録音と FM ラジオの録音機能があります。録音後は、IMA ADPCM（16kHz、4 ビット、モノラル）ファイル形式に、FM ラジオの場合は IMA ADPCM（22 kHz、4 ビット、ステレオ）ファイル形式に直接変換されます。

録音時においては、次の条件が録音可能な時間を決定します。

- プレーヤーのストレージ空き容量
- 電池の残量

ボイスの録音

録音中、録音可能な時間が表示されます。また、録音経過時間を示すステータスバーが表示されます。

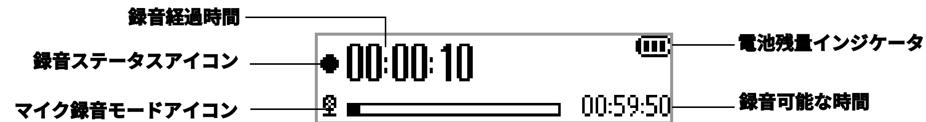


図 4-25:

ボイス録音を行うには

1. メニューボタンを押します。
2. ［Microphone（マイク録音）］アイコンを選択します（図 4-26）。録音を示すバーが画面に表示されます（図 4-25）。

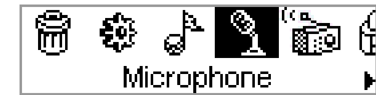


図 4-26:

3. ［再生 / 一時停止］ボタン を押して、録音を開始します。
4. 録音を終了するには、再度［再生 / 一時停止］ボタン を押します。録音したトラックのファイル名は自動的に付けられ、トラックはプレーヤーに保存されます。ファイル名は通常次のようになります。
VOC_[連番]

FM ラジオの録音



FM ラジオの録音中の一時停止はできません。

FM ラジオの録音を行う際は、液晶画面の下側に録音可能な残り時間を示すバーが表示され、画面中央には録音の経過時間を示すカウンターが表示されます。また、FM ラジオのアイコンが液晶画面左下に表示されます。

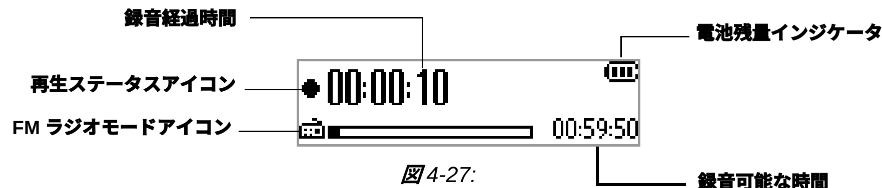


図 4-27:

FM ラジオ録音を行うには

1. メニューボタンを押します。
2. ［FM Radio（FM ラジオ）］アイコンを選択します（図 4-28）。FM ラジオ局の周波数が液晶画面に表示されます（図 4-29）。

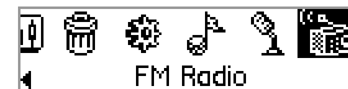


図 4-28:

3. 再度メニューボタンを押します。

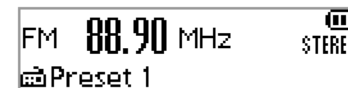


図 4-29:

4. ［FM Recordings（FM ラジオ録音）］アイコンを選択します（図 4-30）。録音を示すバーが液晶画面に表示され、録音が開始されます（図 4-27）。



図 4-30:

5. 録音を終了するには、［再生 / 一時停止］ボタン ►/II を押します。録音された FM ラジオ音声は自動的に名前が付けられ、プレーヤーに録音ファイルとして保存されます。ファイル名は通常次のようになります。
   FM_[連番]

録音ファイルの再生



ボイス録音機能で録音したファイルはファイル名に **"VOC"** が、**FM** ラジオを録音したファイルはファイル名に **"FM"** が付きます。

録音したボイスおよび FM ラジオのトラックを再生するのは簡単です。Music（ミュージック）モードでは、画面に経過時間、トラック番号、そして録音したトラックのファイル名が表示されます。



図 4-31:

録音したファイルを再生するには

1. メニューボタンを押します。
2. ［Music（ミュージック）］アイコンを選択します。図 4-31 と同じ画面が表示されます。
3. 再度メニューボタンを押します。
4. ［Folder (Root)（フォルダ (ルート))］アイコンを選択します。
5. ［RECORDINGS］フォルダを選択します。フォルダの内容を表示するには、［再生 / 一時停止］ボタン ►/II を押します。
6. トラックを選択します。トラックが自動的に再生されます。

再生モード



同時に複数の再生モードを有効にできません。

プレーヤーにはいくつかの再生モードがあり、トラックの再生方法を変更できます。再生モードは［Normal（ノーマル）］を選ぶことで、初期状態に戻ります。

プレーヤーには、次の再生モードが用意されています。

- **Repeat Track**（リピート）
- **Repeat All**（全リピート）
- **Track Once**（シングル）
- **Shuffle Repeat**（ランダム）
- **Shuffle Once**（シャッフル）
- **Normal**（ノーマル）

再生モードに入るには

1. メニューボタンを押します。
2. ［Music（ミュージック）］アイコンを選択します。図 4-31 と同じ画面が表示されます。
3. 再度メニューボタンを押します。

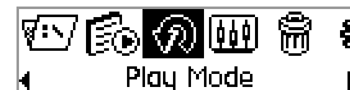


図 4-32:

4. ［Play Mode（再生モード）］アイコンを選択します。リストが表示されます（図 4-33）。
5. 次のいずれかの操作を行い、必要なモードに設定します。



図 4-33:

Repeat Track（リピート）

トラックを繰り返し再生するには

［Repeat Track（リピート）］アイコンを選択します。
［Repeat Track（リピート）］アイコンが画面に表示され、プレーヤーを止めるか別のトラックに移動するまで、トラックが繰り返し再生されます。

Repeat All（全リピート）

すべての曲を繰り返し再生するには

［Repeat All（全リピート）］アイコンを選択します。
［Repeat All（全リピート）］アイコンが画面に表示され、再生を停止するまでトラックが繰り返し再生されます。

Track Once（シングル）

現在再生中のトラックの終わりで一度再生を停止するには

［Track Once（シングル）］アイコンを選択します。
［Track Once（シングル）］アイコンが画面に表示され、トラックの終わりで一旦再生が停止します。

Shuffle Repeat（ランダム）

すべてのトラックをランダムに繰り返すには

［Shuffle Repeat（ランダム）］アイコンを選択します。
［Shuffle Repeat（ランダム）］アイコンが画面に表示され、トラックがランダムに選択され、停止させるまで繰り返し再生されます。

Shuffle Once（シャッフル）

すべてのトラックを一度だけシャッフルで再生するには

［Shuffle Once（シャッフル）］アイコンを選択します。
［Shuffle Once（シャッフル）］アイコンが画面に表示されます。トラックがランダムに選択され、一度だけ再生されます。

Normal（ノーマル）

トラックを最初から最後まですべて再生するには

［Normal（ノーマル）］アイコンを選択します。
すべてのトラックが普通に再生されます。

イコライザ設定

プリセットの選択

イコライザは音響効果を高めるためのイコライザのセットです。プリセットされたロックやジャズ用の設定を選択するか、ご自分の好みに合わせてカスタム設定できます。

1. メニューボタンを押します。
2. ［Music（ミュージック）］アイコンを選択します。図 4-34 と同じ画面が表示されます。
3. 再度メニューボタンを押します。
4. ［EQ（イコライザ）］アイコン を選択してサブメニューを表示します。
5. 次のオプションから一つを選択します。
   - **Rock**（ロック）
   - **Pop**（ポップス）
   - **Classical**（クラシック）
   - **Jazz**（ジャズ）
   - **Custom EQ**（カスタム）
   - **Normal**（ノーマル）

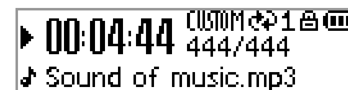
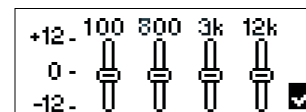


図 4-34:

カスタムイコライザの使用

1. ［Custom EQ（カスタム）］アイコン を選択します。
   液晶画面に縦方向の 4 つのコントロールレバーが表示されます。それぞれのレバーには、コントロール可能な周波数の範囲が分割されています。
   100 Hz のスライダーは低音域、**800**Hz は中低音域、**3** k Hz は中音域、**12**kHz は高音域をそれぞれコントロールします。
2. 音域のレベルを選択します。
3. メニューボタンを左右に動かし、レベルを調整します。
4. を選択し、メニューボタンを押して設定を確認します。
5. 他の音域のレベルを調整する場合は、以降ステップ 2 から 4 を繰り返して下さい。



ユーザー設定

設定の変更

設定モードはユーザー設定を調整するためのオプションの集まりです。コントラストやバックライトなど、プリセットされた表示設定を調整できるほか、プレーヤーのデフォルトの言語を変更したり、使用可能なメモリーの空き容量などの役立つ情報を表示したりできます。

1. メニューボタンを押します。
2. ［Settings（設定）］アイコンを選択します。
3. 次のオプションから一つを選択します。
   - **Contrast**（コントラスト）
     液晶画面のコントラストを調整します。
   - **Backlight**（バックライト）
     バックライトの時間を調整します。
   - **Language**（言語）
     液晶画面に表示するデフォルトの言語を設定します。
   - **FM Region**（**FM 地域**）
     FM 周波数検索を行うために、自分のいるデフォルトの地域を設定します。
   - **Idle Shutdown**（シャットダウン）
     プレーヤーが非アクティブになってから、電源が自動的に切られるまでの時間を調整します。
   - **Information**（情報）
     プレーヤーのファームウェアバージョン、メモリーの合計容量、およびメモリーの空き容量を表示します。

プレーヤーのロック / ロック解除

プレーヤーをポケットやバッグに入れているときに、ボタンを間違えて押さないようにプレーヤーをロックできます。プレーヤーがロックされているときにボタンを押すと、プレーヤーをロック解除するように促すメッセージが表示されます。5 秒後にこのメッセージは閉じます。

ロック

1. メニューボタンを押します。
2. ［Lock（ボタンロック）］アイコンを選択します（図 4-35）。プレーヤーはロックされます。

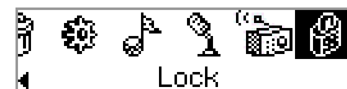


図 4-35:

ロック解除

1. メニューボタンを押します。
2. ［Unlock（ロック解除）］アイコンを選択します（図 4-36）。プレーヤーはロック解除されます。



図 4-36:

プレーヤーのフォーマット

プレーヤーをフォーマットする際には、保存されたデータを全てバックアップしてから行って下さい。フォーマットを行うと、プレーヤーに保存されている全ての音楽トラック、データファイルは削除されます。工場出荷時において、プレーヤーは既にフォーマットされています。

1. 付属の USB ケーブルを用いて、プレーヤーをコンピュータの USB ポートに接続します。
2. Windows エクスプローラを起動します。プレーヤーは Windows エクスプローラ上で［リムーバブルディスク］として認識されます。
3. ［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックし、［フォーマット］を選択します。
4. 画面の指示に従ってプレーヤーをフォーマットして下さい。

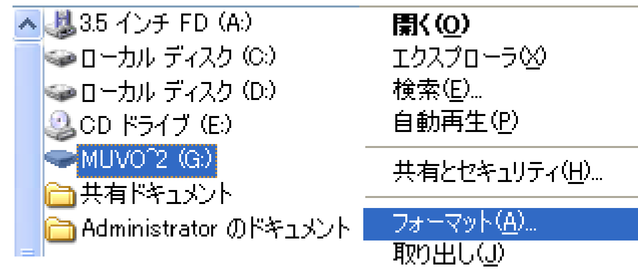


図 4-37:　　プレーヤーのフォーマット

5. フォーマットが完了したら、コンピュータからプレーヤーを取り外す前に、安全に取り外しができる状態になっているかどうかを確認して下さい。プレーヤーの停止方法について詳細は 3-8 ページの「手順 5: プレーヤーの取り外し」を参照して下さい。

Windows エクスプローラの使用方法については、Windows のオンラインヘルプを参照して下さい。

CREATIVE

5 ソフトウェアアプリケーション

ソフトウェアアプリケーション

Creative MediaSource と Creative AudioSync ウィザードについて



CD 書き込み機能は、一部の Creative デジタルオーディオプレーヤーでのみ使用可能です。



Creative MediaSource が CD-R ドライブまたは CD-RW ドライブを検出できない場合は、www.creative.com/support/ から Creative CD 書き込みドライブの更新をダウンロードしてインストールして下さい。

Creative MuVo^2 FM には、Creative MediaSource や Creative AudioSync ウィザードをはじめ、便利なソフトウェアが含まれています。

Creative MediaSource はお使いのコンピュータとプレーヤーの間で音楽の管理や転送を行うのに最適なソフトウェアです。またオーディオ CD に焼くこともできます。

Creative AudioSync ウィザードは、2 つのミュージックライブラリのコンテンツを同期させるのに最適です。

Creative AudioSync ウィザードを使用すると 2 つのリポジトリを素早く比較できるため、必要に応じて、異なる場所に格納されているすべてのファイルを自動的に一致させることができます。Creative AudioSync ウィザードでは、同期の方法も選択できます。

使い方に関する詳細は、Creative MediaSource および Creative AudioSync ウィザードのヘルプを参照して下さい。

CREATIVE

A 画面上の図およびアイコンについて

画面上の図およびアイコンについて

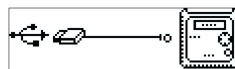
再生ステータスアイコン

再生ステータスアイコンは液晶画面の左側に表示されます。

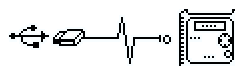
	再生
	一時停止
	トラック内を早送り
	トラック内を巻き戻し
	次のトラック
	前のトラック

画面に表示される図

状況に応じ、液晶画面には次のような図が表示されます。



プレーヤーはコンピュータに接続されています。プレーヤーを使用するには、コンピュータから外して下さい。



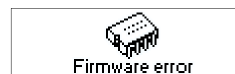
プレーヤーにファイルを転送中です。プレーヤーをコンピュータから外さないで下さい。



録音したボイスファイルが破損しています。録音したボイスファイルが破損していないかどうか確認するか、プレーヤーを再フォーマットして下さい。



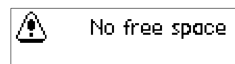
ファイル形式がサポートされていません。再生しようとしているファイルが .MP3、.WMA、または、録音した音声ファイルであることを確認して下さい。



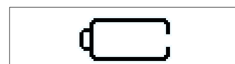
設定の保存中に停電が起きました。ファームウェアを再ロードするか、新しいバージョンのファームウェアをダウンロードして下さい。問題が解決しない場合は、テクニカルサポートにお問い合わせ下さい。



ハードウェアに問題があります。テクニカルサポートにお問い合わせ下さい。



メモリーの空き容量が足りません。不要なファイルを削除して、プレーヤーのメモリーを解放して下さい。



バッテリーが消耗しました。バッテリーを充電して下さい。

CREATIVE

B よくあるご質問

よくあるご質問

この章ではプレーヤーのご使用に際し、よく聞かれる問題についてご紹介します。参照を簡単にするため、よくあるご質問（FAQ）をいくつかのカテゴリーに分けました。詳しくは、弊社ウェブサイト japan.creative.com にて公開される予定です。

使用方法

プレーヤーで再生中に、特定のトラックがスキップされるのはなぜですか？

プレーヤーで再生が可能なのは MP3 形式、WAV 形式、および WMA 形式のみです。他の形式はスキップされます。

プレーヤーに転送したファイルや音楽が破損しているのはなぜですか？

転送が妨害されたと考えられます。コンピュータからプレーヤーを取り外す前に、まずプレーヤーを停止して下さい。詳細については、3-8 ページの「手順 5: プレーヤーの取り外し」を参照して下さい。

プレーヤーの電源を入れた後、すぐに切れるのはなぜですか？

バッテリーが消耗したためプレーヤーの電源を入れることができません。バッテリーを充電して下さい。

プレーヤーへのファイル転送測度が遅すぎます（99 kbps 以下）。どのような対処が適切ですか？

プレーヤーをフォーマットして下さい。詳細については、4-17 ページの「プレーヤーのフォーマット」を参照して下さい。

プレーヤーにデータを保管して持ち運ぶことができますか？

はい、できます。ただし、プレーヤーは音楽の保管および再生用としてできており、特殊なハードドライブではありません。付属の USB ケーブルを使用して、プレーヤーとのデータ転送を素早く行うことができます。Creative MediaSource、または、Windows エクスプローラを使用してデータファイルを管理できます。

ジョギング中にプレーヤーを携帯してもいいですか？

ジョギング中に加えられる衝撃をはじめ、持続的な衝撃をプレーヤーに与えることは避けて下さい。

バッテリーを頻繁に充電しなくてはなりません。バッテリーを長持ちさせる方法はありますか？

- アイドルシャットダウン時間を短く設定します。
- コントラストを低く設定します。
- トラック内での不要な早送りや巻き戻しは避けます。
- プレーヤーの電源を不要にオン / オフしないようにします。
- パッシブスピーカーやインピーダンスの高いヘッドフォンの使用を避けます。
- WMA ファイルの再生を避けます。

プレーヤーの AC アダプターを接続したままの状態でもいいですか？

AC アダプターは取り外して下さい。バッテリーの充電、または、プレーヤーの使用が終わると、プレーヤーから AC アダプターを外して下さい。AC アダプターを接続したまま放置すると熱が発生し、プレーヤー、または、バッテリーを損傷する恐れがあります。

AC アダプターを損傷するか紛失した場合、市販のもので代用できますか？

いいえ、市販の AC アダプターはプレーヤーに対応していません。専用の AC アダプター以外のアダプタを使用すると、プレーヤーを損傷する恐れもあります。AC アダプターをご希望の方は、保証書に記入されている弊社カスタマーサポートに電話または FAX でご連絡下さい。

著作権保護（DRM）の付いた WMA ファイルを再生することはできますか？

著作権保護（DRM）の付いた WMA ファイルの再生に対応していますが、これらのファイルを再生するには、Creative MediaSource、Creative AudioSync Wizard、Windows Media Player のいずれかを使ってコンピュータからプレーヤーに転送する必要があります。

更新

MuVo 製品すべてに関する公式情報はどこで入手できますか？

すべての MuVo 製品、Creative 社の MP3 プレーヤーおよびアクセサリに関する最新情報とダウンロードを弊社ウェブサイト（http://japan.creative.com/）でご提供しております。

CREATIVE

C 仕様

仕様

サイズ（幅×高さ×奥行き）

- 66.5 mm × 67.0 mm × 20.0 mm

液晶画面

- 132 - 32 ピクセル、バックライト付き液晶

再生フォーマット

- MPEG Audio Layer 3（MP3）、Windows Media Audio（WMA）、および Waveform（WAV）

SN 比

- 98 dB

全高調波歪率

- <0.05%

再生周波数

- 20 Hz ~ 20 kHz

ヘッドフォンの出力

- 15mW+15mW

USB の接続性

- USB 1.1、および USB 2.0 に対応

CREATIVE®